

AIRHEADS通信

vol.

82

CLIのパワーを生かした便利な コンフィグ設定ツール「NetEdit」の実力

平素より「Airheads通信」をご愛読いただき誠にありがとうございます。
パートナー営業本部の今井です。

関東も梅雨入りとなり、じめじめとした季節がいよいよやってまいりました。

5月は暑い日が続き、なんと北海道でも40度近い気温を観測するなど
例年にはない気候に戸惑った方もいらっしゃることでしょう。

令和は異常気象から始まったようで、このままいくと

避暑地という概念を“平成”に置き忘れてしまいそう
な心配すら。

そんな暑い5月だっただけに、梅雨入りがより一層憂鬱なものに感じられるのは
私だけではないはず。
農家の方には恵みの雨ではあるのですがね。

いずれにせよ、本格的な梅雨で家がカビまみれになる前に、
我が家の対策を強化することに。

皆様、カビ対策って行っていますか？

我が家では、湿気を取り除く除湿剤の交換をはじめ、
浴室やクローゼットには防カビ燻煙なるものを実施しました。

できる限り早期に対策を施すことで
被害を最小限に防ぎたい！！

まあ、**私の強いくせ毛だけは有効な対策がない**ため、
早く梅雨明けを祈るのみなのですが（笑）



CLIのパワーを生かした便利な コンフィグ設定ツール「NetEdit」の実力



新たな拠点追加に伴って、ネットワークの相談をするべく、朝早くから美咲とディーンを呼び出した大輔。

ネットワーク機器の運用管理に便利なものを模索するなかで、ディーンから勧められた「NetEdit」。CLIのパワーを生かしながら複数スイッチの設定や検証などが容易なソリューション、いったいどんなものなのか？



大輔（だいすけ）

A市役所のIT推進室から転職して、現在は世界的なお菓子メーカーであるD&W社の情報子会社に転職。ネットワーク統括部のメンバーとしてグローバルなIT基盤の運用管理を担う。実際にはITの知識があまりなく、いつも周囲に頼ってばかりいる。



美咲（みさき）

大輔と同じくA市役所職員から転職した、もと大輔の部下。大輔が所属する情報子会社の親会社にあたる、グローバル本社のD&W社システム企画部に所属。社会人歴はわずか3年ほどだが、平成生まれのデジタルネイティブ世代として、ITの知識は豊富。



ディーン

D&W社のシステム部門に在籍する留学生・インドネシア人。ネットワークやセキュリティのスペシャリストながら、日本の文化に傾倒、大輔や美咲よりも日本のカルチャーに詳しい。



大輔さん、おはようございます。
あれ、大輔さん...？



...



大輔さん、おはようございますッ！！（大声）



ふえあ！？...おお、びっくりした！！美咲くんじゃない。
どうしたの、大声出して。



今日は朝8:30から会議が設定されていたので、早めに来たんですけど。
大輔さん寝てましたよね！？まさか仕事で徹夜したんじゃ...



まさか。僕がそんなことするわけじゃない。いや、アメリカのテレビドラマ
見てて、止められなくなっちゃってね。結果朝まで見ちゃったもんだから。



仕事ではないですが、徹夜はしたんですね...



まあ、そういうこと。でどうしたの、今朝は？



大輔さんが呼び出したんですよ、朝から会議やるって。



ああ、そうか！いや、営業拠点が新たに増えることになって、インフラどうし
ょうかっていう相談をしようと思ってたんだ。そう、また増えちゃうんだよね。



いいことじゃないですか、グループの売上が増えるんだし。



いやさ、縁の下の力持ちである我々はさ、ネットワークも含めて新たに新設され
た拠点の環境を準備しないとイケないわけじゃない。
それはそれで大変だからさ。なんというか、面倒くさいというか...



ネットワーク機器が追加されると、その分どこかで設定情報の一元管理が必要で
すし、何かあれば変更作業も必要ですもんね。



まあそれが仕事なんだけど、うちはグローバルに拠点があるから、
できれば効率よく管理できるものが欲しいんだよね。



変更するタイミングでSTPのループプロテクトを忘れちゃったりしたら、
ネットワーク止めちゃいますもんね。



おお、怖い...事前にしっかり設定変更したものが有効かどうか検証できる機能も
欲しいなあ。



より複雑性が増してくるのであれば、自動化という選択肢も...



理想的にはそうだけど、エンジニア全員がプログラムのスキルが要求されてくるじゃない？

僕には難しそうだしなあ。もっとシンプルに、でもGUIみたいなものだと管理できる深さが足りないケースもあるだろうし。
あ、そうだ、ディーン先生のご意見も聞いてみたいね。



困ったときのディーン頼みですかね...聞いてみましょうよ。ディーン？



大輔サンの声が大きくて、全部聞こえてまシタよ。
私も朝カラ呼び出しを食らっているんですケド...



まま、そういわずに。でさ、ネットワーク機器が一元管理できるシンプルなもの
が欲しいんだけど。



Arubaのスイッチを利用しているナラ、NetEditという仕組みがおすすめデス。



以前展示会で聞いたことがあるような名前。
「NetEdit」ってどんなソリューションでしたっけ？



スイッチOSの「ArubaOS-CX」に関するコンフィグ管理ツールデス。
コンフィグ情報をJSON形式でスイッチに流し込んでくれるのデスが、
Webインターフェースでありながら、GUIではなくCLIで動かしマス。
ArubaOS-CXは、コア/アグリゲーション・スイッチ用に
新たに開発されたスイッチ用のOSデス。



おお、ネットワーク屋さんにはCLIのほうが慣れているもんね。



正直スイッチのCLIなんて何十年も変わっていませんからネ。
複数のスイッチも同時にCLIライクな形で設定変更できマス。

CLIライクな設定+αを実現

複数スイッチを同時にCLIライクで設定可能



Diffをその場で確認し、設定ミスや設定漏れを防ぐ



慣れ親しんだCLIを使った統合管理を実現！

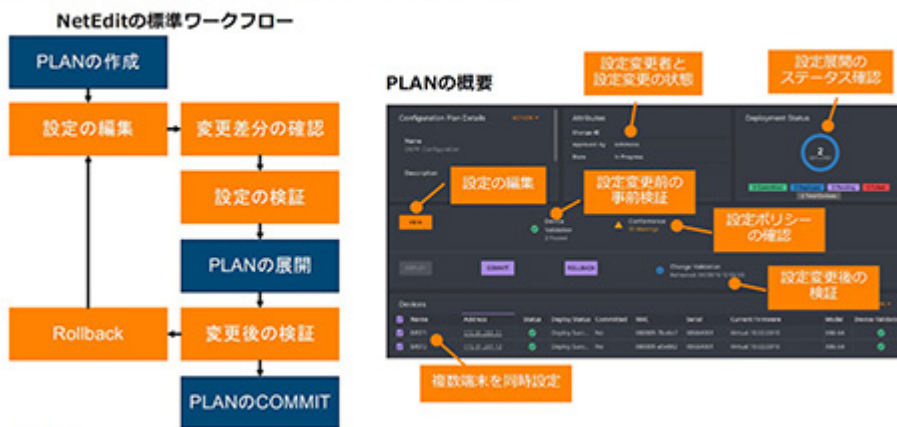


NetEditってどんなことができるの？



ArubaOS-CXの設定やファームウェアが集中管理できるのはもちろん、設定変更作業を計画としてワークフロー化できます。

PLANによる設定管理をワークフロー化



新人であっても、そのワークフローに沿って設定変更していけば、設定ミスも起こりにくそうだね。



そういった手順はノウハウの部分で現場によっては口頭でしか伝わってないこともありますからね。



設定変更に関する事前・事後検証も可能デスし、ロールバックもワンクリックで行うことが可能デス。万一のときニモ対処できるよう工夫されています。



僕みたいなおちょこちよいにはありがたい！



自覚しているのは素晴らしい...他にもできることはあるの？



設定変更の履歴も自動的に分かりやすく管理できますし、設定のポリシー違反なんかも自動検知できるんデス。なんと、ハードウェアの交換履歴だって管理できますから。

設定変更履歴の自動取得 (Device Revision History)



設定変更履歴の自動取得のためだけでもNetEditを使う価値あり！



いろんなことができるのね！



NetEditナラ今抱えている課題の解決策となりうるかもしれませんね。

現在の課題	NetEditの解決策
複数スイッチの設定が大変	Attributeによるスイッチの管理
スイッチの設定はCLIじゃないと嫌だ	CLIライクな設定 + aを実現
設定ミスによる障害を防止したい	設定変更前の検証 (Device Validation)
設定変更後の確認が大変	設定変更後の検証 (Change Validation)
設定ポリシーを守るのが面倒	設定ポリシーの自動チェック (Conformance)
ちょっとした設定変更が多く、履歴管理が大変	設定変更履歴の自動取得 (Device Revision History)
複数スイッチのFirmware Upgradeを効率化したい	Firmware Upgrade の一括管理
ハードウェアの交換履歴も設定と同様管理したい	ハードウェアステータスの履歴を確認



大輔さん、うちはArubaスイッチが入っているから、使えそうですね。



確かに、困っていることの解決にはつながりそう。
設定ミスを回避するためのいろんな機能が備わっている感じ。
あ、設定ミスといえば...



どうしました？



今朝の8:30に設定した会議だけど、時間間違っちゃった。
18:30からになったわ。ごめん、ごめん、僕の設定ミスだったよ (笑)



.....それはやっちゃいけない設定ミスですよ.....

【6/27 Airheadsアカデミー in 東京開催！】

ネットワークエンジニアの皆さまを対象にArubaやネットワークのトレンドをご紹介するAirheadsアカデミー。今回は、話題の5GとWi-Fi6(IEEE802.11ax)との違いや、AIを活用したネットワーク運用管理など盛りだくさんの内容でお届けします！是非ご参加ください！！

Aruba製品を実際に触れるハンズオントレーニング、Airheads スクール開催中！
(東京、名古屋)

https://f-vr.jp/hpe_aruba/enq/mail_reg/airheads_ho/seminar_new_form.cgi



バックナンバー

▼ Vol.1~49

▼ Vol.50~81

バックナンバーは、下記サイトにて公開しております。

<https://www.hpe.com/jp/ja/networking/mailmagazine.html>

※最新版が掲載されていない場合もありますが、随時掲載して参りますので後日ご確認ください。